

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場会社名 東京産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 平野 章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 須藤 隆志

TEL 03-5203-7841

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	23,852	△39.4	21	△94.7	117	△77.9	65	△78.2
21年3月期第1四半期	39,350	—	399	—	532	—	299	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.42	—
21年3月期第1四半期	11.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	36,663	16,195	44.0	600.53
21年3月期	35,084	15,974	45.3	592.08

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 16,135百万円 21年3月期 15,910百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	57,000	△35.3	200	△75.1	300	△68.2	150	△68.3	5.58
通期	154,000	△15.5	950	△26.7	1,050	△29.8	550	△23.7	20.47

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	28,678,486株	21年3月期	28,678,486株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,808,955株	21年3月期	1,806,838株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	26,870,466株	21年3月期第1四半期	26,880,581株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の下げ止まりや在庫調整の進展などにより一部に景気の下げ止まりの兆しはみられるものの、昨年の米国発の金融危機に端を発する世界経済の急減速の影響は未だ根強く、企業収益や雇用情勢の悪化、個人消費や設備投資意欲の低迷から、引き続き厳しい状況で推移しております。

こうした情勢のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ21,442百万円減少の15,317百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高は、23,852百万円と前年同四半期を15,497百万円(前年同四半期比39.4%)下回ることとなりました。売上高の部門別構成は電力関連部門66.6%、化学機械関連部門12.3%、電子精機関連部門9.8%、環境・船舶関連部門9.1%、その他2.2%となりました。

売上総利益は1,177百万円(前年同四半期比371百万円減、24.0%減)、営業利益21百万円(同378百万円減、94.7%減)、経常利益117百万円(同414百万円減、77.9%減)、四半期純利益65百万円(同233百万円減、78.2%減)となりました。

受注及び販売の状況

第1四半期連結累計期間

単位(百万円)

部門別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	10,328 (27,292)	67.4 (74.3)	△16,964	15,889 (29,168)	66.6 (74.1)	△13,278	79,180 (68,002)	65.3 (57.5)	11,178
化学機械 関連部門	1,538 (1,697)	10.0 (4.6)	△158	2,929 (3,478)	12.3 (8.9)	△548	7,476 (12,723)	6.1 (10.7)	△5,247
電子精機 関連部門	1,496 (4,052)	9.8 (11.0)	△2,555	2,350 (4,530)	9.8 (11.5)	△2,180	4,866 (4,483)	4.0 (3.8)	382
環境・船舶 関連部門	1,678 (3,394)	11.0 (9.2)	△1,716	2,166 (1,923)	9.1 (4.9)	242	29,050 (32,930)	24.0 (27.9)	△3,880
その他	275 (322)	1.8 (0.9)	△47	517 (249)	2.2 (0.6)	267	690 (72)	0.6 (0.1)	617
合計	15,317 (36,759)	100.0 (100.0)	△21,442	23,852 (39,350)	100.0 (100.0)	△15,497	121,264 (118,213)	100.0 (100.0)	3,050

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(イ)資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は36,663百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,578百万円の増加となりました。主な要因として売上債権の増加等により流動資産が1,134百万円増加し、投資有価証券評価替え等により固定資産が444百万円増加したことによります。

(ロ)負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は20,467百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,357百万円の増加となりました。この主な要因は、仕入債務の増加等により流動負債が1,358百万円増加し、引当金の減少等により固定負債が1百万円減少したことによります。

(ハ)純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は16,195百万円となり、前連結会計年度末と比較して221百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は44.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して1,665百万円減少の4,641百万円となりました。内訳につきましては、以下の通りであります。

(イ)営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、減少した資金は1,590百万円となりました。増加の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益120百万円、仕入債務の増加額803百万円等であり、減少の主な内訳は売上債権の増加額1,704百万円、法人税等の支払額291百万円等であります。

(ロ)投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、増加した資金は339百万円となりました。増加の主な内訳は、定期預金の払戻による収入500百万円等であり、減少の主な内訳は有形固定資産の取得による支出118百万円等であります。

(ハ)財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、減少した資金は414百万円となりました。減少の主な内訳は、短期借入金の返済による支出310百万円、配当金の支払100百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績結果は、平成21年5月18日に開示いたしました当期業績予想に対し概ね計画通り推移しており、22年3月期の通期業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、契約内容により工事進行基準と工事完成基準を選択適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,053	6,398
受取手形及び売掛金	20,681	18,975
有価証券	1,794	1,578
商品	265	268
その他	2,435	824
貸倒引当金	△89	△38
流動資産合計	29,140	28,006
固定資産		
有形固定資産	3,017	2,978
無形固定資産	58	58
投資その他の資産		
投資有価証券	3,475	2,992
その他	1,288	1,367
貸倒引当金	△316	△319
投資その他の資産合計	4,446	4,041
固定資産合計	7,522	7,078
資産合計	36,663	35,084
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,993	8,567
受託販売未払金	8,978	6,609
短期借入金	1,260	1,570
未払法人税等	12	324
引当金	135	368
その他	2,580	1,162
流動負債合計	19,960	18,602
固定負債		
長期借入金	7	10
引当金	133	307
その他	366	191
固定負債合計	507	508
負債合計	20,467	19,110

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,655	2,655
利益剰余金	9,893	9,962
自己株式	△533	△532
株主資本合計	15,458	15,528
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	538	243
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	139	139
評価・換算差額等合計	677	381
少数株主持分	59	63
純資産合計	16,195	15,974
負債純資産合計	36,663	35,084

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	39,350	23,852
売上原価	37,802	22,675
売上総利益	1,548	1,177
割賦販売未実現利益戻入額	16	13
割賦販売未実現利益繰入額	27	—
差引売上総利益	1,536	1,190
販売費及び一般管理費	1,137	1,169
営業利益	399	21
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	119	87
その他	10	8
営業外収益合計	138	103
営業外費用		
支払利息	5	5
その他	0	1
営業外費用合計	5	6
経常利益	532	117
特別利益		
投資有価証券売却益	0	3
その他	—	0
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産売却損	—	0
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	532	120
法人税、住民税及び事業税	147	4
法人税等調整額	88	55
法人税等合計	236	60
少数株主損失(△)	△2	△4
四半期純利益	299	65

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	532	120
減価償却費	46	64
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△3
有形固定資産売却損益(△は益)	—	0
ゴルフ会員権評価損	—	1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	48
賞与引当金の増減額(△は減少)	△159	△183
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△50	△50
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△86	△174
受取利息及び受取配当金	△127	△95
支払利息	5	5
売上債権の増減額(△は増加)	△1,579	△1,704
たな卸資産の増減額(△は増加)	220	2
リース投資資産の増減額(△は増加)	—	5
仕入債務の増減額(△は減少)	1,388	803
未払又は未収消費税等の増減額	34	0
その他	455	△173
小計	675	△1,331
利息及び配当金の受取額	50	37
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△327	△291
営業活動によるキャッシュ・フロー	394	△1,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△20
定期預金の払戻による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△68	△118
有形固定資産の売却による収入	7	0
無形固定資産の取得による支出	△0	△33
投資有価証券の取得による支出	△100	△19
投資有価証券の売却による収入	1	22
貸付金の回収による収入	8	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152	339

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△310	△310
長期借入金の返済による支出	△2	△2
リース債務の返済による支出	—	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△132	△100
少数株主への配当金の支払額	△1	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446	△414
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184	△1,665
現金及び現金同等物の期首残高	3,419	6,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,235	4,641

(4)継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

該当事項はありません。